

1. 目的

本計画は、「新発田市まちづくり総合計画」および「新発田市都市マスタープラン」、「中心市街地活性化基本計画」といったまちづくりの計画を支援するため、新発田市における都市内交通の目標を明らかにし、幹線街路網や幹線街路と公共交通との連携、歩行者・自転車空間を中心とした都市内交通計画(まちづくり交通計画)を策定することを目的とする。

2. 対象地区

本計画の対象区域は、おおむね「新発田市都市マスタープラン」で位置づけられた将来市街地とする。

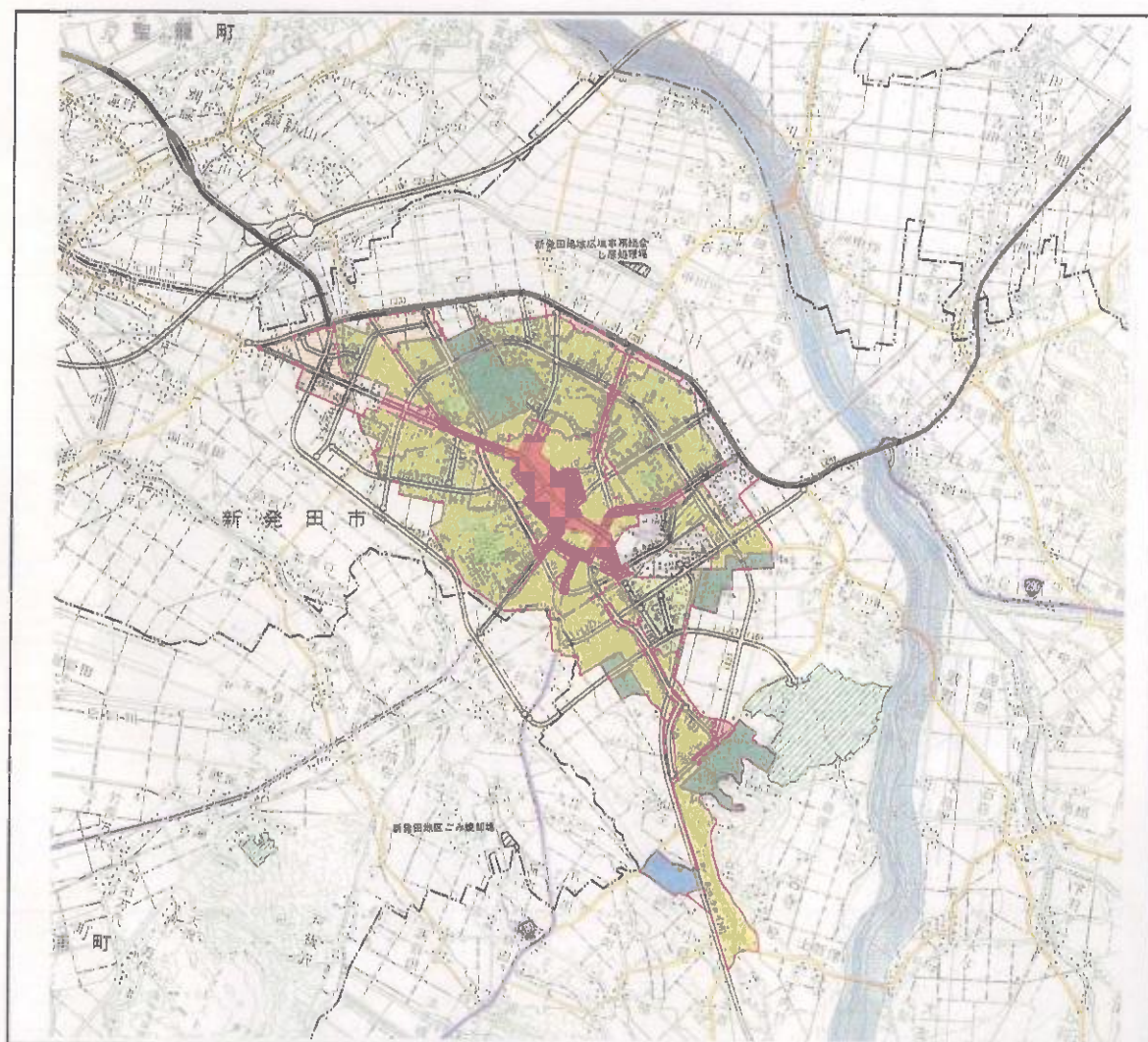


図1-1 対象地区

3. 作業手順

本計画の作業手順を以下に示す。

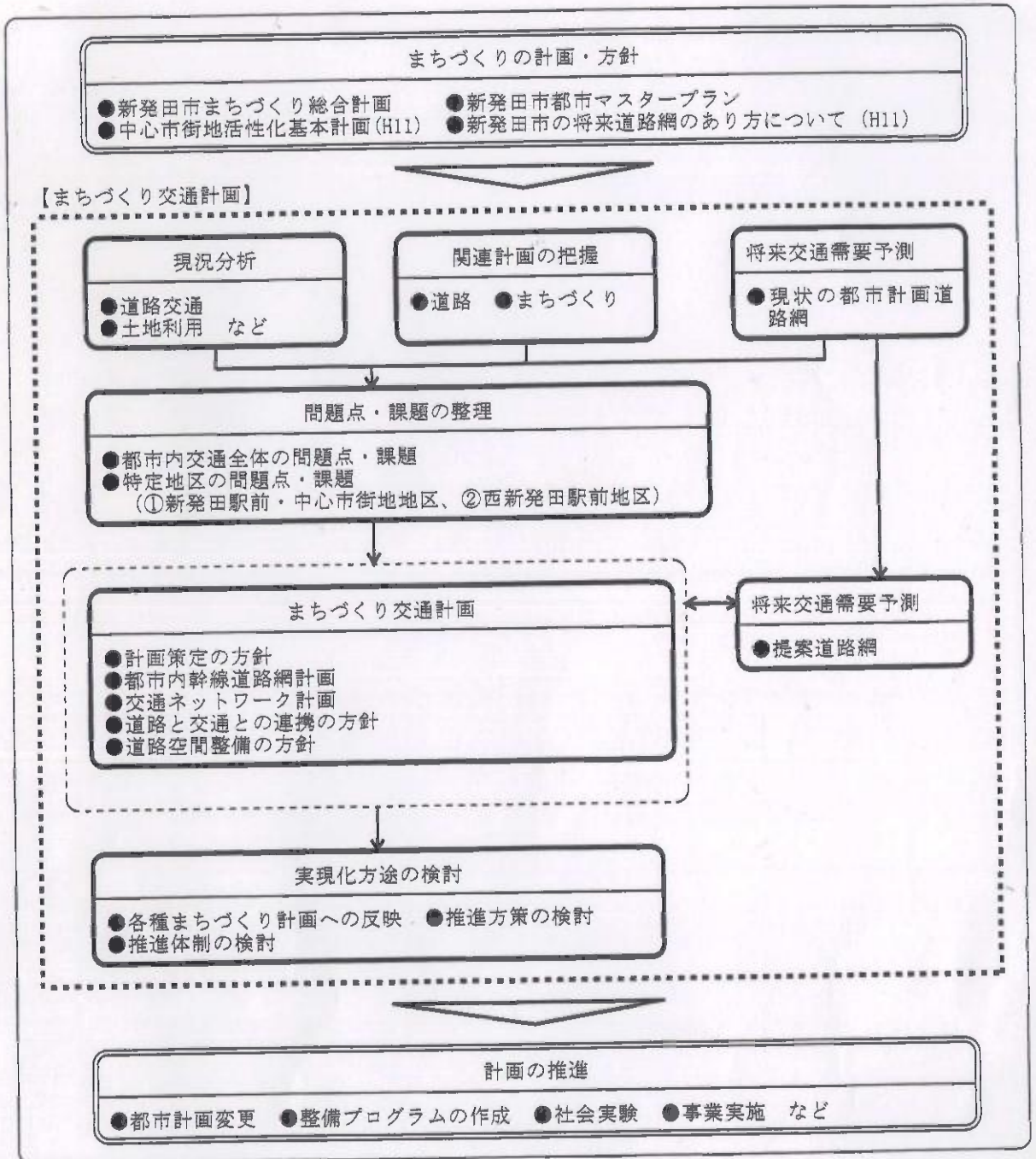


図1-2 作業手順

4. 計画の策定方法

本計画は、新発田市が、関連道路管理者(国土交通省新潟国道事務所、新潟県新発田土木事務所)と連携・協力し、国・県・市の上位計画・方針や関係機関・団体の意向を反映させ、あるいは調整を図りながら策定した。

なお、関係機関・団体の意識把握や意見交換の場として、「新発田市道路網検討会議」を設置し、検討結果を計画に反映させた(巻末資料参照)。

5. 道路交通に係る問題点と課題

現況分析結果等から、本市の道路と交通に係る問題点と課題を以下に整理した。

●背景

- 新発田市をとりまく社会経済の変化
 - 高齢化、少子化社会の進展
 - 地域連携・国際的交流の進展
 - 情報化の進展による産業構造、生活環境の変化
 - 環境問題への対応
 - 市民の価値観の多様化に伴うライフスタイルの変化
- 開発プロジェクトの動向
 - 日本海東北自動車道
 - 国道7号4車線化
 - 南バイパス
 - JR白新線の複線化、西新発田駅の移転
 - 西新発田駅前土地区画整理事業
 - 新発田駅前開発

●現状と問題点

- 広域道路網
 - ・南北軸に対応した東西軸の強化
 - ・放射状の道路網形態 → 周辺市町村から多様な交通が集中
 - ・国道7号(新新BP)における朝夕の慢性的渋滞 → 新潟市への定時性確保
 - ・JR白新線、羽越本線と3つの駅(新発田、西新発田、佐々木)
 - ・周辺市町村を結ぶバス路線は新発田駅がターミナル
- 人口・世帯数等
 - ・市全体人口の6割が市街化区域に集中する
 - ・高齢者比率は18%。中心市街地内では更に高齢化が進行
 - ・高等教育施設が多く立地し、通学人口が集中する → 鉄道、バス交通の利用
 - ・生活行動圏の拡大により新潟市の通勤圏となる → 通勤移動の中心は自家用車
 - ・市内での消費活動は年々減少、買い物地区も中心部から郊外へ着実に移行
- 土地利用・建物
 - ・商業系土地利用は中心部と郊外部とに二分化、中心商業の衰退が顕著
 - ・DIDは着実に拡大 → 市街地の進展に応じた道路網整備
 - ・中心市街地に主要な公共公益施設(県立病院、市役所等)が集中する → 自家用車による利用が中心
 - ・主要観光地は、中心市街地内の清水谷地区と郊外の五十公野公園周辺など
- 道路
 - ・放射道路により郊外から市街地内へ交通が集中 → 渋滞(通過交通)対策
 - ・歩道は、国県道、都計道では確保されている → 適正歩道幅員の確保が必要
 - ・中心部は城下町特有の街区形態で、区画道路は狭隘で屈折が多い
 - ・都市計画道路は面整備とあわせて計画的に整備中 → 整備が遅延する路線もあり
 - ・中心市街地内は、一方通行などの通行規制区間が多い
- 交通の実態
 - ・国道7号は慢性的に渋滞。国県道は交通量が多く、大型車混入率も高い
 - ・発生集中交通量は年々増加している。
 - ・新発田駅利用者は約200万人/年、1日の乗車人員は5,000人/日をこえる。
 - ・バス交通は新発田駅がターミナル。利用が少なく事業採算性が課題となる。鉄道駅や県立病院への停留所において乗降客が多い。
 - ・中心市街地内の主な交通経路は、商店街や公共施設、学校などを結ぶ動線
 - ・駐車、駐輪対策が求められている

●主な上位計画による位置づけ、方向性

- 新発田市まちづくり総合計画基本構想
「愛せるまち、誇れるまち、ふるさと新発田の創造
豊かな大地「食糧供給都市」
- 市民の暮らしを守り支える安心・安全のまちづくり
- 子供から高齢者まで誰もがいきいきと輝くまちづくり
- 伝統文化の継承と豊かなこころを育む創造のまちづくり
- 豊かな市民生活を実現する産業振興によるまちづくり

- 新発田市「都市マスタープラン」
- 広域通過交通と地域内交通との分離を図る幹線道路網の確立(環状道路、放射道路)
- 通過交通の適性処理や都市防災強化、地区間連絡のための市内幹線道路の適正配置
- 歩行者・自転車空間ネットワークの整備とバリアフリー化
- 道路と公共交通の連携強化、駅前広場などの交通結節点の機能充実
- JR白新線の複線化の促進
- 良好な道路景観の形成

- 新発田市「中心市街地活性化基本計画」
- 人優先の生活環境づくり(歩行者空間の整備、コミュニティバス、ユニバーサルデザイン等による歩行者支援)
- まちの骨格となる「みち」づくり(「歴史のみち」、「水のみち」、「センターリング」の整備)
- シンボルとなる駅前空間づくり(「豊かな緑の中で人々の賑わいが感じられる」駅前空間の整備)

●整備課題

【都市全体での課題】

- 高速道・国道7号など広域交通体系整備への対応
- 環状道路と放射道路を骨格とした新発田幹線ネットワークの形成
- 商業地・住宅地における歩行者空間の整備
- 移動制約者に配慮した施設および空間の整備
- 良好な道路景観の形成
- 公共交通と道路との連携による市街地内の交通体系の確立
- 市街地内での自転車交通の調整、誘導
- 駅前広場(新発田駅・西新発田駅)の拠点性、利便性の向上
- 鉄道交通サービス機能の強化(複線化と増便等)による利便性向上

【特定地区の課題】

[新発田駅前・中心商業地地区]

- 市街地中心としての機能強化
 - 骨格道路網
 - 駅前広場
 - 公共交通
 - 交流機能
 - 都心居住の推進 等
- 交通環境の総合的な取り組み
 - 渋滞対策
 - 通過交通対策
 - 路上駐車対策
 - 交通安全対策 等
- 中心市街地の活性化支援
 - 地区内移動の円滑化
 - 商店街の活力回復(新たな機能の付加)
 - 住民・来訪客のニーズへの対応
 - 高齢者・身体障害者への配慮 等
- 歴史文化を活かした街並み形成
 - 道路や街並み等の景観形成・保全
 - 城下町らしさの継承、特有の街区形状を活かす
- 生活環境の改善
 - 道路緑化
 - 防災空間整備 等

[西新発田駅前地区]

- まちづくりの計画的推進
 - 面整備
 - 骨格街路整備
 - 街並み形成
 - 交通安全
 - コミュニティ施設 等
- 駅を核とした生活拠点の形成
 - 商業機能
 - 通勤・通学の利便性(パークアンドライド、バス交通サービス向上) など